

## 2023年度 学校関係者評価報告書

学校法人湘中央学園  
浦添看護学校  
学校関係者評価委員会

学校法人湘中央学園浦添看護学校・学校関係者評価委員会は「2023年度自己点検・自己評価報告書」に基づいて保護者、卒業生、業界関係者による評価を実施しましたので、下記のとおり報告します。

### 1. 教育理念・目的・育成人材像

○教育理念・目的・人材育成像は、明確に定められており、学校における職業教育その他の教育指導等においても放送大学におけるダブルスクール制度を導入し、丁寧に指導している。

社会のニーズを踏まえた学校の将来構想については、18才人口の減少が言われる中、教育内容の特徴のみならず、看護師養成所としてのあり方を検討する必要がある。

2023年度は将来構想に係る検討会組織を立ち上げ、看護学校としてのあり方を検討する必要があるとしながら十分にできなかった。また、保護者への周知についても後援会を活用することが十分でなかった。

### 2. 学校経営

○目的に沿った運営方針、運営方針に沿った事業計画は湘中央本部から示される事業項目及び内容に基づき策定され、湘中央学園理事会で承認を得ている。運営組織や意思決定機能は学則に基づく諸規定において明記されており、人事、給与規定も明確(労働基準法に基づく)になっている。

業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制については、学内にコンプライアンスに対する事項等を一括して検討する組織はまだできていない。ただし、就業規則の遵守は問題なくなされており、労働条件等についても36協定の締結が行われている。

企業倫理としてはハラスメントに関する検討を行い、次年度より「ハラスメント対策委員会」を学内に位置付けることができた。本校の地域における活動等は、地域・社会貢献としての側面から積極的に行っている。学校内部の活動のみならず、看護教育機関としての社会的役割を果たしている。

### 3. 教育活動

○教育理念に沿った教育課程の編成及び教育方法や評価などについては「シラバス」や「履修規程」に基づき、的確に実施されている。さらに実践的な職業教育としては、看護師養成所の特徴である臨地実習がそれに相当し、病院をはじめ福祉施設や保健施設等と連

携を取りながら効果的に実施している。

カリキュラム開発には従来通り職業実践専門課程に関連する「教育課程編成委員会」の意見等を吟味して臨床現場のニーズに即したカリキュラム開発(授業方法等)に係る検討を進めている。教育実践に係る授業評価はあらかじめ策定された評価表に基づき、その都度実施している。学生の成績評価や単位認定、卒業認定も「履修規程」に基づき実施している。学生の成績評価の結果は教務会で全教員参加のもとで検討し、学生個々の状況を共有している。また、その結果は授業改善につながるよう努力している。

○教育活動における教員の実態として教員養成講習会未受講者数が若干減少した。

#### 4. 学修成果

○進学や就職についてのサポートは学生のニーズに合わせてキャリア支援チームの精力的な活動によりスムーズに対応ができています。資格取得にかかる国家試験対策は1年から3年生まで年間を通して対策が取られているが、より効果を挙げるには1年、2年生に対する働きかけに工夫が必要である(業者が開発した日々の学習アプリの活用)。

学習力の弱い学生に対しては時間外に個別指導を行なっている。因みに113回看護師国家試験の合格率は96.2%で全国平均を大幅に上回り県内看護師養成学校中トップであったことは取り組みが適切であったと評価する。

#### 5. 学生支援・学生指導

○学生に対する経済的支援体制、健康管理を担う組織体制、課外活動に対する体制の整備は順調になされている。また、進学・就職に関する支援体制もキャリア支援チームが学生と指導日程の調整をしながら実施している。

近年、増えつつあるメンタルの問題を抱えた学生への対応は、その都度会議を収集し、抜かりなく対応ができています。スクールカウンセラー及び医療機関との連携もスムーズである。

#### 6. 教育環境

○施設整備については、教育上必要な整備は予算の範囲内で優先度を考慮しながら順次進めている。防災体制も防災管理規定に基づき消防用施設等の点検を定期に実施している。防災訓練の一環で行われている消防訓練及び避難誘導訓練は4月の速い段階での実施が望ましい。

#### 7. 法令遵守

○法令遵守については、毎年の教育実践報告として沖縄県を經由し、厚生労働省、文部科学省に滞りなく行われている。学生の成績評価については、看護学領域ごとに共有し、必要に応じて家族とも共有するようにしている。

2023年度は、沖縄県看護師養成所指導調査の該当校となり、看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインに基づく所管課の面接指導を受けた。概ね適正に運営されているとの評価を得た。若干の指摘事項については即対応ができた。

#### 8. 学生受け入れ募集・社会貢献・地域貢献・特別活動等

○学生の募集活動については、18才人口が減少している中、大学志向の強い現役高校生への広報のあり方に工夫が必要である。高校へのパンフレット配布や高校の進路指導教諭への進路相談等は従来通り実施しているが、それに対しても工夫が必要である。

○地域・社会貢献・国際交流は学校のねらいとする教育が「地域に根ざした看護基礎教育」を標榜していることから特徴ある活動を積極的に行っている。

今年度実施した、学校祭は、地域の人たちから好評を得ていることから次年度も開催されることを求める。また、従来行われている JICA 沖縄国際交流センターとの連携は国際交流という視点で考えると外国に行くことなしに地元でできるというメリットは大きい。今後も継続さらに充実・強化を望む。

以上